

RAILWAY PICTORIAL

鉄道ピクトリアル

1957年11月号 Vol. 7 No. 11

「北陸線・交流電化」特集号

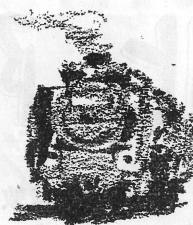


表 紙「難 行」	古田江二
グラフ	

「特集」—北陸線—<交流電化と新線開通>	7	
柳ヶ瀬越 1・2	八木義一 8	
柳ヶ瀬越 3・4	阪倉守・坂本晃 9	
北陸線交流電化新線開通 木ノ本・疋田間	佐竹保雄・渡辺肇 10	
「場内オーライ」	古田江二 27	
晩秋の高原にて 田部井康修・吉川文夫・高松吉太郎・石川雅也	28	
柳ヶ瀬越え	阪倉守 30	
From to Overseas <ニュージランド官営鉄道>	辻圭吉 32	
南海電鉄車両集 [6]	小林庄三 34	
わだいのくるま(15) 近畿日本鉄道南大阪線ラビットカー	51	
トピック	仙山線交流電化完成・東海道線新準急電車登場・限界測定車北海道へ渡る・外人観光団用臨客運転・名鉄新車モ5200形・東京都電空気バネ台車試作車・京福電鉄越前本線新車ホデハ241形・京阪神急行京都線新車・国鉄交直両用電源車	52
わだいのくるま(16) 山陽電鉄新鋭特急車モハ2000形	54	

記 事	
今月の話題「北陸線交流電化開通」	3
北陸隧道	原口正一 4
写真で見る ED70 形	沢野周一 11
交流化新線路の印象	T 記者 17
北陸線電化設備のあらまし	広岡徹 18
トロリーポールへのノスタルジア	高松吉太郎 20
ニュージランドの鉄道	辻圭吉 22
金沢駅 <あの駅・この駅> [21]	山本義行 24
南海電鉄 [6] 私鉄車両めぐり ②	小林庄三 35
重大運転事故を顧みて [その6]	水野正元 40
機関区のぞ記(22) 敦賀第一機関区	矢田忍 44
質問に答える	46
鉄道の話題	47
読者短信	48
D E 教室	50
車両の動き	55
新駅・新線開業	56

附 錄 鉄道用語小辞典(26)	
-----------------	--

今月の話題

北陸線交流電化開通

裏日本縦貫線の輸送力の増強の一環として工事中の北陸線米原—敦賀間の線路増設と、田村—敦賀間の交流電化工事は完成していよいよ待望の交流機関車が10月1日、秋色深まる北陸線に颯爽と登場した。

今次の時刻改正が北陸新線の電化開通を主軸として行われたのを見ても判るように、北陸線の輸送力は1列車700トンから一躍1,000トンへと4割強の増強を見たばかりでなく、60サイクル交流電化方式は全世界に先駆けたことに深い意義がある。

思えば國鉄が「商用周波数による単相交流」がよいとの結論を出したのは29年6月で、早くも同年9月から仙山線で各種の試験が開始され、前途に横たわる難問題を一つ一つ解決して行った。かくしていよいよ北陸線の交流化が決定を見たのは昨年春で、爾来交流機関車も電化工事もわずかに1年間で、ここに北陸線の交流電化が見事完成したわけである。

しかし、これで現在の直流式のようにスラスラと機関車が走ると考えるのは早計で、すでに交流機関車の故障発生が伝えられ前途は多難が予想される。いわば交流電化は試験区間での運転に成功しただけであり、こんご長期にわたってしかも降雪期間に大量輸送を行ふに当つて、車両・施設面で思わぬ障害に遭遇することも容易に想像されるところで、北陸線に課せられた使命は重い。

表 紙「難 行」 古田江二
32-6-24 刀根—疋田間にて
上り貨物列車